

## 令和6年度 静岡県森林・林業技術研究発表会講評

(はじめに)

- ・ 審査委員を代表いたしまして令和6年度静岡県森林・林業技術研究発表会の講評を申し上げます。
- ・ 発表者の皆様におかれては、日々の業務の中、問題意識を持ち、技術の研鑽に努められ、今回、このような場において発表されたことに、深く敬意を表します。
- ・ また、発表者を支援していただきました関係者の皆様、熱心に聴講いただきました会場の皆様に御礼申し上げます。

(発表の内容)

- ・ この発表会は、森林との共生に関する技術の向上や森林・林業に係る産官学等が連携した研究開発や取組の推進及びその成果の普及を目的に開催するもので、今回で53回を数えます。
- ・ 今年度は13件の発表が審査対象となっており、発表の内容から2つの部門に分けて審査しました。1つは、治山や林道事業などに関する発表を「治山・林道部門」とし、4件の発表がありました。また、森とのふれあいや林業振興などに関する

る発表を「森林・林業部門」とし、9件の発表がございました。

- ・発表は、民間の関係者からの発表が1件、民間と県の共同から6件、県から6件となっており、その内容は、公共工事やその施設の管理、事業の効果、新技術の導入など、様々な分野や視点から発表が行われました。

(全体の講評)

- ・全体を通して、レベルが非常に高いという印象を受けました。大変頼もしく感じました。
- ・それでは、まず、発表全体の講評として2点ほど申し上げます。
- ・1点目として、「発表内容の創造性」であります。
- ・現場が抱えている様々な問題に対して、課題の整理、原因の分析、新たな提案をあげ、業務の改善に寄与するであろう発表が多く見受けられました。
- ・なかでも、ドローンや新技術を活用した労務の省力化、作業の効率化に向けた新しい取組や未利用材の活用の取組など、新たな課題の解決につながる発表がありました。

- ・ 2点目として、「考察、研究成果」についてです。
- ・ 改善策が具体的に示されていて、業務に活用する視点が良くとらえられていました。
- ・ 今後、更なる検証を進め、続報（第2報）、そして業務の効率化につながることを期待します。
- ・ 一方で、考察の掘り下げにより、さらに良い発表になったと思われるものも見受けられました。

(優秀発表の選定)

- ・ それでは、優秀発表の選考結果について申し上げます。
- ・ 審査方法は、14名の審査委員が発表課題ごとに「テーマの設定」、「創造性」、「考察と成果」、「発表態度」、「資料の整理・わかりやすさ」の5つの項目から審査しました。
- ・ 審査結果をもとに、審査委員会で協議した結果、「治山・林道」、「森林・林業」の部門別に合計6件の優秀発表を選定しました。
- ・ それでは、優秀課題を発表します。まず、「治山・林道部門」ですが3件の優秀発表を選定しました。

- 1件目は、発表 No. 5 民間との協働による公共工事から発生する未利用木材の有効活用 　　です。
- 2件目は、発表 No. 1 用宗地区第二線堤の保安林の課題と対応策について 　　です。
- 3件目は、発表 No. 8 林業専用道京柱線開通の効果及び今後の展望 　　です。
- 時間の都合上、この内、発表 No. 5 民間との協働による公共工事から発生する未利用木材の有効活用 　　の講評を申し上げます。
- 公共工事で廃棄物として処理されてきた未利用木材について、木材利用の促進による地域経済の活性化や地球温暖化対策への貢献へとつながる取り組みであり、治山・林道事業の現場にとどまらず農地を含めたその他の農林事務所や土木事務所の工事への展開が期待されます。
- 次に、森林・林業部門です。森林・林業部門は、3件の優秀発表を選定しました。
- 1件目は、発表 No. 12 大型ドローンによる資材運搬の実証 　　です。

- ・ 2件目は、発表 No. 13 防護ネット柵の高機能化による造林地の獣害対策 　　です。
- ・ 3件目は、発表 No. 7 ドローン空撮画像を用いた間伐率把握手法の検証 　　です。
- ・ 時間の都合上、この内、発表 No. 12 大型ドローンによる資材運搬の実証 　　の講評を申し上げます。
- ・ 主伐再造林地におけるドローンを活用した資材運搬に関し、急傾斜地での作業員の負担軽減、安全確保などについて、関係者と実証に取り組み、その効果や今後の課題が、わかりやすく取りまとめられておりました。
- ・ 今後も、実証を重ね、手法を確立し、県内他地域への波及を期待いたします。
- ・ 以上が優秀発表でございます。おめでとうございます。
- ・ 優秀発表については、今後、全国の発表会などに参加していただく場合もございますので、担当課から依頼がありましたら御協力をお願いします。

(結び)

- ・ 最後に、この研究発表会につきましては、来年度も同時期に

開催する予定でございますが、今年度同様に多くの皆様に御参加いただき、日頃の課題への対応や新たな可能性への取組など、多くの発表が行われることを期待しております。

- ・ 御来場の皆様におかれましては、長時間に亘り、ご清聴いただきましてありがとうございました。